



# 木曾中学校だより

2026年度—7月号—

令和8年7月1日発行  
町田市立木曾中学校  
校長 大山 茂登

Tel. (042) 792-3081  
木曾中で育もう15歳のあるべき姿を

## 「充実した振り返りと、確かな一歩を踏み出す夏休みに」

校長 大山 茂登

今年の梅雨は、昨年のような極端に暑い日が連日続くこともなく、雨で傘を使う機会もたびたびあり、梅雨らしい落ち着いた天候が続いています。暑すぎず、この時期らしい気候であることから、学校での生活においても落ち着いて取り組める雰囲気づくりにつながっているように感じます。7月に入り、1学期も残り2週間余りとなりました。今年度はエレベーター設置工事の影響により、終業式よりも前に三者面談を実施する日程となっております。例年よりも少し慌ただしい7月となりそうですが、夏休みを前に今やるべきことや確認しておくべきことを明確にし、1学期の振り返りをしっかりと行ってほしいと願っています。

4月に入学した1年生も、この3か月間の中学校生活のなかで、授業だけでなく委員会活動や部活動など、様々な取組を通して中学生としての自覚と自信を深めてきました。毎朝行っている朝読書やキュービナに取り組む様子からも、4月当初に比べて、2・3年生と同じように落ち着いてじっくりと向き合っている姿が見られ、大変頼もしく感じています。

先週で定期考査も終了し、解答用紙の返却が始まっています。点数を確認することはもちろんですが、自身の学習や学校生活全体を振り返る絶好の機会を迎えています。先述の通り、今年は工事の関係で7月10日より三者面談を実施いたします。夏休みを迎える前に、1学期間のこれまでの取組を担任とともに丁寧に振り返り、子どもたちにとって前向きな反省ができる貴重な機会にしたいと考えています。

ご家庭におかれましても、努力したところやできるようになったことは積極的に認め、その頑張りをねぎらってあげてください。一方で、うまくいかなかったことや達成できなかったことについては、決して責めるのではなく、今後どのように取り組んでいくかという具体的な見通しをもたせ、自ら一歩を踏み出せるよう励ます場として、この三者面談の機会を有効にご活用いただければ幸いです。自分自身を認めることは、成長においてとても大切です。反省を行う際、ついできなかったことに目が向きがちですが、まずはできたことや進歩した点に目を向けてみてください。自分のやってきたことをしっかりと肯定することで自信が生まれ、それが次の努力への大きな原動力となります。

今年は、海の日3連休から始まる、いつもより少し長めの夏休みとなります。夏休みに入ってから計画を立てていては、時間を有効に活用できないこともあります。特に3年生にとっては、上級学校の見学や体験授業など、今後の進路決定に向けた重要な機会が控えています。これらには事前の予約や準備が欠かせません。計画的に情報を集め、今後の進路に向けてしっかりと準備を重ねてください。

今学期も本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。保護者や地域の皆さまのご支援のおかげで、日々の授業から体育祭をはじめとする学校行事に至るまで、充実した教育活動を推進できましたことに心より感謝申し上げます。これから夏休みを迎えるにあたり、木曾中学校の生徒が地域の皆様と接する機会が多くなるかと思えます。子どもたちが安全に、そして生き生きと活動できるよう、今後とも変わらぬご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

## ★2年生「English Festa」が開催されました★

6月26日（金）、本校体育館にて2年生を対象とした「English Festa（イングリッシュフェスタ）」が開催されました。当日は8名のALT（外国語指導助手）の先生方をお迎えし、体育館はオールイングリッシュの「海外の教室」に変わりました。

今回のテーマは「木曾中学校の学校行事について英語で伝え合おう」です。生徒たちは、体育祭や、スキー教室、生徒発表会といった身近な行事を題材に、どんな行事なのか、その行事のどんなところが好きなのか等を、ALTやクラスメイトに向けて英語で発信しました。「動物の日」「お菓子の日」「ゲームの日」などオリジナルの行事を考えて発表した生徒たちもいました。

最初は緊張していた生徒たちも、だんだんと笑顔が増え、リアクションを交えながら、積極的に会話を広げようとする姿がとても印象的でした。文法の正しさだけにこだわりすぎず、「相手に伝えよう、相手の言葉を理解しよう」とする姿勢が随所に見られました。今回の貴重な体験を自信につなげて、これからの英語学習や国際理解へさらに一歩を踏み出してくれることを期待しています。

## 地域にヒマワリを咲かせよう・・・ひまわりプロジェクト

東日本大震災の被災地福島県への復興プロジェクトです。この地域では、民生委員の藤嶋さんが中心になって活動しています。藤嶋さんからの誘いで5年前から木曾中東門横で、ひまわりの苗植えから水やり、種の収穫まで地域の方々とJRC部の生徒が活動しています。

今年は生徒と都合が合わなかったため苗植えは、藤嶋さんと学校運営協議会会長の竹島さん、そしてボランティアコーディネーターで行いました。生徒はこれからの水やりから種の収穫までお世話します。



## 学校運営協議会を開催

5月15日金曜日、本年度第1回の協議会が開催されました、委員の皆様には、校内「エンカレッジルーム」で生徒に寄り添う居場所づくりや、境川・木曾南団地交差点での毎朝の挨拶運動など、多大なご支援をいただいています。

地域と生徒の温かい交流は、学校の大きな支えです。今後も一丸となり木曾中生を育ててまいります。次回は7月2日木曜日開催予定です。